

# サケがおとなになる年齢

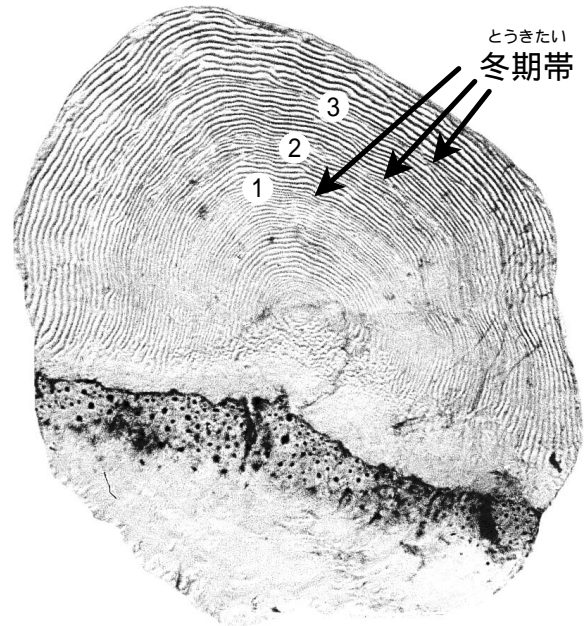
## サケの年齢の調べ方

サケの年齢は、鱗(ウロコ)の様相から調べることができます。

サケのウロコは、泳ぎはじめる稚魚の頃には生えてきます。ウロコの大きさは、成長につれてだんだん大きくなっていきます。

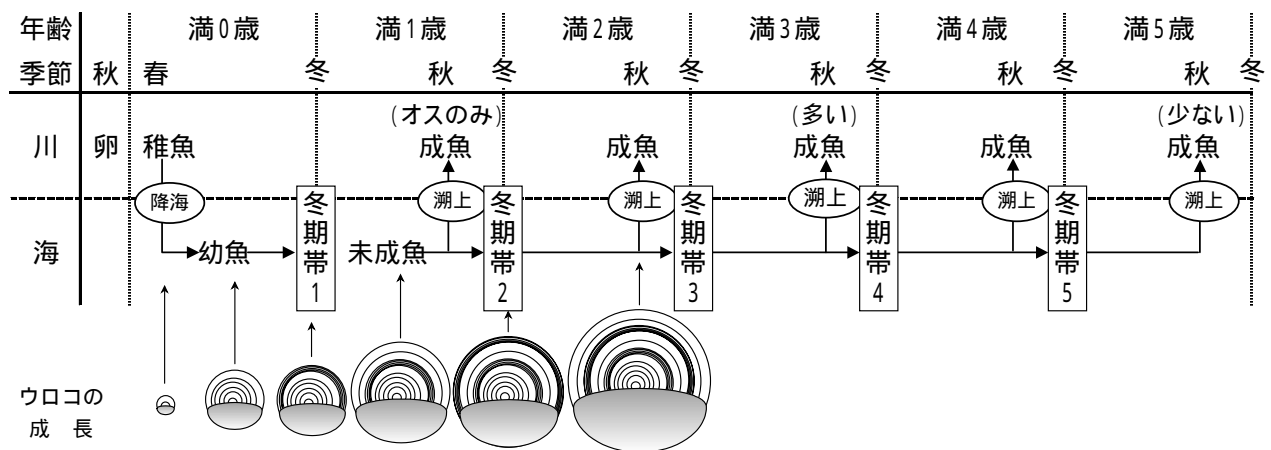
サケのウロコには、木の年輪のようなたくさんの円い線の様相があり、成長につれて線の数が増えていきます。木の年輪とちがって、ウロコの線は1年に何本もできます。

海でのサケは、冬にはエサの量が減ってあまり成長せず、ウロコの線と線の間が狭くなります。この狭いところを「冬期帯」と呼びます。ウロコにある冬期帯の数で何回冬を越したかを調べれば、そのサケの年齢がわかります。



サケのウロコ  
満3歳

たとえば、上の図のウロコでは、冬期帯が3つあります。このサケは冬を3回越しているので、下の図から満3歳ということがわかります。



## サケがおとなになる年齢

サケがおとなになる年齢は、ふつうオスが満1歳～5歳、メスが満2歳～5歳です。満2歳～4歳でおとなになるものが多く、いちばん多いのは満3歳です。

1999年9月29日に札幌の琴似発寒川で、満7歳のオスザケ(体長69.5cm)を見つけました。